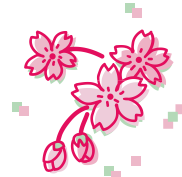


馬見原小学校の沿革

明治	8	公立学校 馬見原小学校創立
	22	市町村制実施により、大野村側も小学校科馬見原小の支校として管理統合
	25	大野小学校 独立
	33	尋常小学校と高等小学校を併設
大正	42	プラタナス3本植樹
	9	宮崎県鞍岡村の委託教授開始
昭和	16	二宮尊徳像 建立
	17	馬見原国民学校後援会設立
	22	馬見原町立馬見原小学校と改称、中学校併設
	23	PTA 発足
	26	新校舎建設
	27	長崎分校校舎新築
	31	蘇陽町立馬見原小学校と改称
	35	馬見原町 大火災
	42	体育館 落成
	48	プール 落成
平成	50	創立100周年記念式典
	51	100周年記念タイムカプセル設置
	元	長崎分校 閉校
	3	台風19号によりプラタナスが折れる 学校安全教育文部大臣表彰
	13	新校舎 落成
	17	山都町立馬見原小学校に改称
	20	熊日PTA新聞最優秀賞受賞、プール 落成
	22	普通5学級、特別支援1学級となる。 児童版画コンクールで特別賞受賞
	23	児童版画コンクール2年連続特別賞
	24	閉校・蘇陽南小学校開校



【山都町立馬見原小学校】
 生徒数 51人
 所在地 山都町馬見原165
 創立 明治8(1875)年

- 1 児童全員による構成詩「ふるさと まみはら」
- 2 「多くの人の声に耳をかたむけて」OBの森下さんの講演。
- 3 馬見原自治振興区女性の会による「馬見原追分」。
- 4 会場には、学校の記録アルバムが展示されていました。懐かしい写真を見て当時の思い出話にも花が咲きます。
- 5 校舎とともに子どもたちを見守り続けたプラタナス。明治42年に植樹されたときは3本。平成3年の台風被害で現在の2本になりました。
- 6 体育館前の石碑に閉校記念プレートが埋め込まれました。
- 7 お別れ会の前には、ステージ横で、卒業写真や学校行事写真のスライドショーもありました。
- 8 大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の迫力の演奏。今回ステージに立ったのは全て馬見原小学校を卒業したメンバー。

馬見原小学校校歌
 作詞 山口 白彦
 作曲 梅沢 信一

一、緑にぬるる麓山
 紅雲に映ゆる五ヶ瀬川
 流るるまもゆく水も
 光みぐる馬見原の
 われら学ばん朝夕に

二、歴史は古く輝かに
 命は若くたくましく
 野山の空に雲むとろ
 生気あふる馬見原の
 われら励まん朝夕に

三、山川清く人を知
 美しの里をうけつぎて
 理想の町を築くべき
 希望燃え立つ馬見原の
 われら進まん朝夕に

そして学校への感謝の気持ちを歌や詩にして会場に語りかけました。

そして、馬見原小OBで、旭化成(株)陸上部の森下由輝さんの講演。森下さんも当時の思い出を交えながら、これからいろいろな人生の岐路に立つであろう児童にアドバイスを贈りました。

最後に、大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の演奏と、馬見原追分の唄と踊りが披露され、136年の歴史に幕を下ろす馬見原小の閉校記念式典を締めくくりました。

馬見原小学校では、児童が6年間を通して、地区の老人クラブと交流しています。米やソバなどの栽培を協力して行い、その収穫をもに喜んできました。児童にとってはとても貴重な体験だったことでしょう。そして、地域の方々と共に学校生活を送っていることを感じただけです。

馬見原小の歴史は136年。卒業生は2000人を超えます。

3校の最後を飾る、馬見原小学校の閉校記念式典が、2月26日に行われました。式には、児童51人、保護者、教職員、町関係者、地域住民の方々などおよそ250人が出席しました。

はじめに閉校式が行われました。国歌斉唱の後、学校長式辞、教育委員会告辞、町長や関係者のあいさつがありました。そして、児童代表の片倉楓さん(6年)のあいさつの後、校旗を教育長に返納し、会場全員で校歌を斉唱し、閉式しました。

閉校式の後は、お別れ会が行われました。松本新治記念式典実行委員長と中矢美記男自治振興会長のあいさつのもと、旧在籍職員を代表して、第24代校長の川上喜美生さんがあいさつしました。川上さんは「長谷小学校の閉校に伴って、馬見原小学校に赴任してきました。その夏、今も校庭に残るプラタナスが台風で折れてしまったことを今でも鮮明に覚えています。」と当時の思い出を語りました。

続いて、全校児童による構成詩「ふるさと まみはら」が披露されました。

スライドを使いながら、保護者や地域の方々、